

静岡県内の「みなとニュース」を紹介します

# みなとしみず

SINCE 1990.6

発行



国土交通省 中部地方整備局  
清水港湾事務所  
静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL 054-352-4146(代表)  
御前崎港事務所  
下田港事務所  
田子の浦港事務所

## 清水港湾事務所長 出水 孝征 着任のご挨拶



清水港湾事務所長 出水 孝征

このたび、所長として着任した出水と申します。

前職では鉄道局技術企画課総括補佐として、鉄道の技術基準やバリアフリー等に関する仕事を行っておりました。

清水港という歴史のある場所で仕事ができることになり、大変うれしく思うとともに、身の引き締まる想いです。また、中部地方並びに静岡での業務の経験はなく、これを機会に様々な地を訪れ、静岡の魅力を体験したいと楽しみにもしています。

静岡県内には、清水港、田子の浦港、御前崎港をはじめ、地方港湾を含めると15の港湾があります。これまでに多くの港を訪問してきましたが、どこも地域の産業や暮らしを支える大切な港であると実感しています。事務所として、引き続き、各港の施設整備を通じた機能強化や賑わい創出などの取り組みを進めてまいります。

また、静岡県は、伊豆半島、駿河湾、遠州灘にわたる506kmの海岸線を有しており、自然災害の激甚化や南海トラフ地震が切迫するなか、港の災害対応力の強化は喫緊の課題です。被災したとしても早期に港湾機能を回復し、防災拠点として、復興拠点として地域の経済を支えることができるよう取り組んでまいります。

着任以来、多くの港湾関係者の方々から、直轄事務所に対する期待や声援をいただきました。港の発展を通じて地域に活力をもたらせるよう、地域に寄り添った事務所運営を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 転任のご挨拶 前 清水港湾事務所長 田中 大司

9月1日付で清水港湾事務所長を退任いたしました。

在任中には、清水港新興津地区岸壁延伸、富士見地区老朽化対策、田子の浦港ポケット浚渫、御前崎港女岩地区老朽化対策、下田港外防波堤など、一歩ずつではありますが、着実に事業を進めることができました。関係の皆様には、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

また、静岡県内のクルーズ船寄港が活況を迎え、清水港では大型船の2隻同時着岸も始まり、インフラ整備による効果が現れていることを実感しました。御前崎港や田子の浦港に続き、今年は松崎港に飛鳥Ⅱが初寄港、大井川港への客船初寄港も決まるなど、明るい話題も続き嬉しく思います。

さらに、災害発生後の早期復旧に向けた初動対応訓練や、港湾業務艇による物資輸送訓練など、災害対応力の強化にも取り組み、ご協力いただいた関係者の皆様には深く御礼申し上げます。

これまで静岡県内の隅々まで足を運び、現地を見て皆様のお話を伺い、さらにはご当地グルメや観光地・温泉も満喫し、静岡が大好きになりました。これからも静岡ファンとして、静岡の更なる発展を応援するとともに、皆様に恩返しができるよう精進して参ります。本当にありがとうございました。

## 松崎港に「飛鳥Ⅱ」が初寄港しました！

セレモニー後の記念撮影



歓迎の様子



深澤町長(松崎町)

8月2日に歓迎セレモニーが行われ、地域総出で飛鳥Ⅱの乗客を歓迎していました。歓迎セレモニーでは深澤松崎町長による挨拶のほか、飛鳥Ⅱの田口船長より歓迎に対するお礼の言葉が述べられ、双方で記念品交換が行われました。

当日は、台風9号の影響で航路を変更した飛鳥Ⅲが飛鳥Ⅱに接近しており、多くの人がその様子を写真におさめていました。



↑ 飛鳥Ⅱの乗客はテンダーボートに乗って松崎港に上陸しました。

飛鳥Ⅱは2006年より19年間、世界一周クルーズとして運航されていた日本最大級の客船です。世界一周クルーズとしての役目は後継の飛鳥Ⅲに引き継がれましたが、飛鳥Ⅱは今後も運航を続ける予定です。

## 山梨県甲府市で清水港をPRしました！



田中所長による講演の様子(静岡市提供)

8月5日、ベルクラシック甲府にて「清水港/富士山静岡空港セミナー2025」が開催されました。当日は企業や関係自治体などから、総勢350名(静岡県側:130名、山梨県側:220名)の参加者が集まりました。

セミナーでは田中所長が講演を行い、事業概要の説明や農産物の輸出促進に向けた産直港湾の取り組みなどを紹介しました。

また、清水港湾事務所で実施している港の見学会では、山梨県からも多くの見学者を受け入れており、物流・交流・学習の場としても清水港が活用されている事をPRしました。



意見交換会での展示物(静岡市提供)

## 全国の海洋先端技術が清水港に集結しました！



↑オープニングセレモニーには田中所長も出席しました。賓挨拶が行われました。

7月28日～29日清水マリビルと清水マリンターミナルで海洋関連産業の技術展示会「海のEXPO」が開催されました。

28日のオープニングセレモニーでは、鈴木 康友 静岡県知事による主催者挨拶のほか、上川 陽子 衆議院議員による来賓挨拶が行われました。

## 長野県の小学生が清水港を見学しました！



9月3日、山形村立山形小学校の5年生84名を対象に、日の出フェリーターミナルの見学を実施しました。

当日は、日の出ふ頭に客船「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港しており、児童たちは普段見る機会の少ない船を見て「大きい！」と驚きの声を上げていました。また、清水を訪れていた外国籍観光客へ児童達自ら英語で話しかけるなど、国際交流が図られていました。

## ラジオ番組で清水港の魅力をPRしました！

8月6日、清水を中心に活動するご当地アイドル「Orange Leaf」がMCを務める焼津のラジオ番組「エムスタ！」に田中所長が出演しました。番組内では、清水港みなと色彩計画について紹介したほか、冷凍マグロの水揚げ量が日本一であることや、外国客船の寄港数が本州一であることをPRしました。



ラジオ出演の様子



左から、まなさん、田中所長、みゆうさん

## 8月に開催された地域の夏イベントを紹介！

### 清水みなと祭り

8月1日～3日、清水の一大祭りである本イベントが開催されました。清水港湾事務所は初日の「港かつぼれ総おどり」に参加し、今年は総勢42名で祭りを盛り上げました。2時間ほど踊りましたが、2カ月前から練習を重ねたこともあり、何とか乗り越えられました。

最終日の夜に行われた船舶パレードでは、清水港湾事務所業務艇の「まさき」も参加しました。

今年は3日間で約45万人が来場し、フィナーレでは1万発規模の花火が披露されました。



港かつぼれ総おどり



業務艇パレード



清水区広報キャラクター「シズラ」の花火

### 御前崎みなと夏祭

8月2日、マリンパーク御前崎にて開催された本イベントは、市内企業や飲食店など45店舗が出店し、夜には花火大会が行われ約3,000発の花火が夜空を彩りました。



祭りの様子(御前崎市提供)

### ビール電車2025(岳南鉄道)

8月9日、吉原駅から岳南江尾駅までの1往復間で、ビールが飲み放題となる特別運行車両に乗車しました。富士市の工場風景や街並みを眺めながら談笑し、地域の魅力を再発見しました。



↑終点の岳南江尾駅で記念撮影をしました！

### 土肥サマーフェスティバル海上花火大会

8月18日～20日、松原公園にて開催された本イベントは総勢3.5万人が来場しました。早打ちやスターメインなど、各日約2000発の趣向を凝らした花火が、夏の夜空を真昼に変えました。



花火大会のスターメイン(伊豆市提供)

### 海とみなとの相談窓口

海やみなとに関することは何でもお問い合わせください



全国共通フリーダイヤル(土・日・祝日は除く)  
おーいに よくなれ みなと

**0120-497-370**

受付時間: 9時30分～12時00分  
13時00分～17時00分

### ■お問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課  
TEL 054-352-4148  
[pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp](mailto:pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

みなとの見学会を実施しています。  
詳細は事務所HPをご覧ください！

事務所HP(URL・QRコード)  
<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

